

鹿児島県

I T産業受注促進等支援事業

実施報告書

(平成26～27年度)

平成28年3月



はじめに

一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会は、この度鹿児島県から「IT産業受注促進等支援事業」を受託しました。

当事業は、県内外企業からの大規模なシステム開発の受注促進を図るため、県内の情報通信関連企業（支援対象事業者）の技術者等を対象に、Webアプリケーション開発の基本設計等を行える技術者の養成講座や、顧客から求められたニーズを的確に把握・解決案を提案できるプレゼン技術のレベル向上を図る講座を行うことにより、経営力の向上による売上げや利益の増加を通じて、在職者の処遇改善を図るものです。

当協会では、従業員のスキルアップと処遇改善から情報関連企業の成長を支援します。

終わりに、IT産業受注促進等支援事業の実施にあたりご支援ご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

平成28年3月

一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会

会長 吉満 哲也

実施事業

※Web環境開発高度IT人材育成研修の実施

- ・若手SE向け研修
- ・中堅SE向け研修
- ・ベテランSE向け研修（プロジェクトマネジメント研修）

※プレゼンスキルアップ人材育成研修の実施

- ・プレゼンテーション研修

※支援対象事業者における

- ・処遇改善計画の作成
- ・研修の受講
- ・従業員の処遇改善

目次

ページ

1. 若手SE向け研修	1
2. 中堅SE向け研修	11
3. ベテランSE向け研修	21
4. プレゼンテーション研修	29
5. 処遇改善計画に関する助言等について	44
・支援対象事業者一覧	
・処遇改善計画（例）	
・企業訪問内容について	
6. その他関係資料	46
・募集チラシ	
・新聞広告	

Web環境開発高度IT人材育成研修

1. 若手SE向け研修 概要

実施日 : 土曜日 10:00~17:00 (6H)

研修場所 : (株)フォーエバーセミナールーム

第1回	(8 / 8)	クライアントサイドプログラミング
第2回	(8 / 22)	サーバーサイドプログラミング
第3回	(9 / 12)	JavaScriptにおけるオブジェクト指向プログラミング
第4回	(10 / 3)	開発実習1
第5回	(10 / 10)	開発実習2
第6回	(10 / 24)	開発実習3

講師紹介

刈田 孝康先生



鹿児島大学大学院理工学研究科
情報生体システム工学専攻 准教授

専門分野 : 数理情報工学
授 業 : 情報数学
ソフトウェア工学
プログラミング演習
情報工学実験
アルゴリズムとデータ構造

受講者名簿

- | | |
|----------------------|--------|
| ①コムテック(株) | 岩本 有美子 |
| ②(株)システムメディア | 平野 栄里 |
| ③(株)ケイ・シー・エス | 立木 宏幸 |
| ④(株)ケイ・シー・エス | 南橋 純 |
| ⑤(株)WISHシステムコンサルティング | 龍野 寛樹 |
| ⑥(株)WISHシステムコンサルティング | 神之門 哲士 |
| ⑦小平(株) | 別府 鉄路 |
| ⑧小平(株) | 眞鍋 好 |
| ⑨(株)フォーエバー | 上妻 留美 |
| ⑩(有)Frida | 中川 ひとみ |
| ⑪東京コンピュータシステム(株) | 児島 健一 |
| ⑫(株)コレクトプラン | 吉元 直希 |
| ⑬(株)エム・ディ・エス | 有馬 舞子 |
| ⑭(株)エム・ディ・エス | 西ノ園 渉実 |
| ⑮アイテック(株) | 太田 剛志 |
| ⑯(株)南日本情報処理センター | 繁多 省吾 |
| ⑰(株)南日本情報処理センター | 中島 みなみ |
| ⑱(株)南日本情報処理センター | 川崎 奈菜 |
| ⑲(株)南日本情報処理センター | 上山 太一 |
| ⑳(株)南日本情報処理センター | 吉元 照貴 |

開 講 式

◆日 時：平成27年8月8日（土）10:00～10:40

◆場 所：(株)フォーエバーセミナールーム

◆出席者

- ・講師 湊田先生
- ・受講者 20名
- ・一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会
吉満会長、事務局

◆式次第

- ・開式
- ・一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会 吉満会長挨拶
- ・講師湊田先生紹介
- ・受講者自己紹介
- ・集合写真撮影
- ・閉式



第1回講座

- ◆日 時：平成27年8月8日（土）10:50～17:00
- ◆出席者：講師 澁田先生、受講者20名
- ◆概 要：クライアントサイドプログラミング
「JavaScriptの基本事項を説明し、DOMを用いた簡単なWebシステムを作成」

◆研修内容

- HTML5で会員管理システムを作成し、以下の技術を習得
 - ・HTMLの記述方法
 - ・JavaScriptの使い方（文法等）
 - ・DOMの使い方
 - ・オブジェクトの概念
 - ・クラスの内容、使い方
- JavaScriptについて説明
 - ・文法的な説明（変数について、関数について、オブジェクトとは）



注) HTML	: 【Hyper Text Markup Language】の略で、Web上の文書を記述するためのマークアップ言語。文章の中に記述することでさまざまな機能を記述設定することができる。
マークアップ言語	: 文章の一部を「タグ」と呼ばれる特別な文字列で囲うことにより、文章の構造や文字の大きさや組版の状態などを文章中に記述していく言語。
JavaScript	: プログラミング言語のひとつである。データやメッセージ、命令などのやり取り等に強く、主にWebブラウザに実装される。動的なサイト構築や細かなインターネット上のアプリケーションなど高度な利用を可能にする言語である。
DOM	: XMLやHTMLで記述された文書をプログラムやスクリプトから参照あるいは操作するための方法を提供する仕組み。
XML	: 【Extensible Markup Language】の略で、文書やデータの意味や構造を記述するためのマークアップ言語の一つ。
実装	: ソフトウェアに機能を実現するために具体的なプログラムとして作成する事。

第2回講座

◆日 時：平成27年8月22日（土）10:00～17:00

◆出席者：講師 澁田先生、受講者20名

◆概 要：サーバーサイドプログラミング

「研修で使用するWebサーバーとデータベースサーバーについて説明し、各自のデータベースとホームページを準備。PHPについて説明し、PHPでデータベースにアクセスして簡単なシステムを作成。」

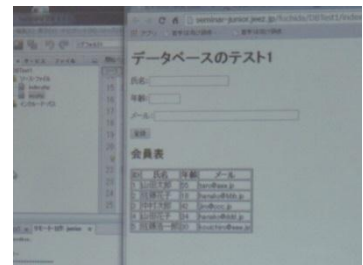
◆研修内容

●今回の研修で使用するサーバー群（以下）について説明

- Webサーバー
- FTPサーバー
- データベースサーバー

●サーバーサイドプログラミングの実装により、以下の技術・知識を習得

- PHP言語の使い方（文法等）
- jQueryの使い方（文法等）
- MySQLの使い方（データの入出力方法等）



注) FTP : 【File Transfer Protocol】の略で、インターネットなどのTCP/IPネットワークでファイルを転送するのに使われるプロトコル。FTPサーバーとは、FTPを利用してファイルの送受信を行うサーバソフトウェア。

PHP : 動的にHTMLデータを生成することによって、動的なWebページを実現することを主な目的としたプログラミング言語である。

MySQL : 世界で最も普及しているオープンソースのRDBMSの1つ。

jQuery : Webブラウザ用のJavaScriptコードをより容易に記述できるように設計された軽量な汎用性の高い複数のプログラムを、再利用可能な形でひとまとまりにしたものである。

第3回講座

◆日 時：平成27年9月12日（土）10:00～17:00

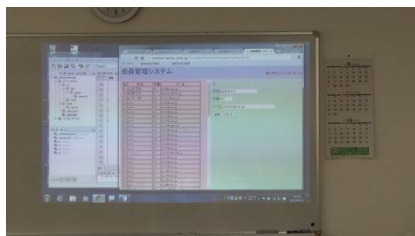
◆出席者：講師 澁田先生、受講者20名

◆概 要：JavaScriptにおけるオブジェクト指向プログラミング

「非同期通信技術であるAjaxを利用し、サーバーサイドのPHPスクリプトと直接データをやり取りする方法を説明し、Ajaxを利用した会員管理システムを作成。さらに、それに必要なCSSの使用方法についても説明。」

◆研修内容

- Ajaxを使い会員管理システムを作成し以下の技術・知識を習得
 - ・ Ajax の概念と使い方
 - ・ PHPスクリプトを用いデータベースと直接やり取りする方法
 - ・ CSSの概念と使い方
 - ・ JavaScriptのオブジェクト指向の概念



注) 非同期通信： ネットワークなどでつながれているコンピュータ間で、送信者のデータ送信タイミングと受信者のデータ受信タイミングを合わせずに通信を行う通信方式。

Ajax： Webブラウザ内で非同期通信を行いながらインターフェイスの構築を行う手法。

CSS： Webページのレイアウトを定義する規格。文書の視覚的構造を規定する枠組みとして策定された。

第4回講座

◆日 時：平成27年10月3日（土）10:00～17:00

◆出席者：講師 澁田先生、受講者20名

◆概 要：開発実習1

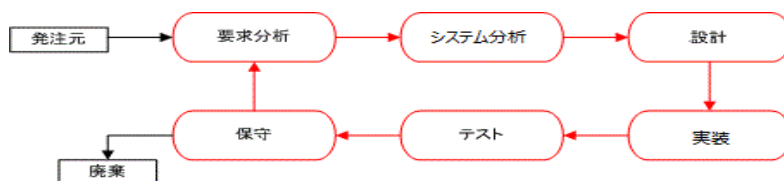
「オブジェクト指向の開発方法論とソフトウェアの開発工程の説明及びUMLetを用いたUML図の描画を実習。会議室予約システムの開発実習を実施。」

◆研修内容

●オブジェクト指向の開発方法の説明

●ソフトウェアの開発工程の説明

・要求分析→システム分析→設計→実装→テスト→保守



・このライフサイクルをモデル化したものに、
→ウォーターフォールモデル、スパイラルモデル、統一プロセスがある

●UMLetによるUML図の描画

●会議室予約システムの開発実習

・基本となるシステムの機能を実装する



注) オブジェクト指向：ソフトウェア開発方法論の1つ。ソフトウェアを開発するとき、その中に登場する「もの」に着目して分析、設計を進めていく技術のこと。
UMLet：Java製のオープンソースのUMLツール。UML図を素早く作成したり、フォーマットの図やクリックボードなどに出力できる。
UML：【Unified Modeling Language】の略で、データ構造や処理の流れなどソフトウェアに関する様々な設計や仕様を図示するための記述を定めたもの。

第5回講座

◆日 時：平成27年10月10日（土）10:00～17:00

◆出席者：講師 澁田先生、受講者20名

◆概 要：開発実習2

「会議室予約システムの開発実習1の続き（実装編）を実施。続いて開発実習2の工程に入った。」

◆研修内容

●開発実習1（続き）

- ・会議室予約システムの実装工程を実施。

●開発実習2

- ・システムの利用者（ユーザー）管理を機能追加する
企画書作成～実装を実施

ユーザID: 12
 ユーザ名: john
 パスワード: *****
 パスワード再: *****
 レベル: 一般ユーザ ▾

登録 修正 削除

ユーザID	ユーザ名	登録日	レベル



注) SQL:【Structured Query Language】の略で、リレーショナルデータベースの管理や操作を行うための言語の一つ。

第6回講座

◆日 時：平成27年10月24日（土）10:00～16:00

◆出席者：講師 湊田先生、受講者20名

◆概 要：開発実習3

「会議室予約システムの開発実習2の続きを実施。続いて開発実習3の工程に入った。」

◆研修内容

●開発実習2（続き）

・会議室予約システムの実装工程を実施。

●開発実習3

・ユーザ情報を利用したログイン処理を機能追加
企画書作成～実装・テストを実施

●今回の研修で作成した会議予約システムの機能概要

- ・カレンダー画面は誰でも表示できる。
- ・制御パネルの右側にログインへのリンクがあり、これをクリックすることでログイン画面へと遷移する。
- ・ユーザ名とパスワードを入力してログインする。
- ・ログインに成功すると、そのユーザでログインした状態になり、ブラウザを終了するまでの間はログインが継続する。
- ・ログインすると、ログアウトできるようになる。
- ・管理者でログインすると「管理」画面へ遷移できる。



閉 講 式

◆日 時：平成27年10月24日（土）16:00～17:00

◆場 所：(株)フォーエバーセミナールーム

◆出席者

- 講師 湊田先生
- 受講者 20名
- 一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会
松窪副会長、事務局

◆式次第

- 開式
- 一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会 松窪副会長挨拶
- 修了証書授与20名
- 受講者を代表して東京コンピュータシステム(株)の児島 健一氏より感想
- 講師の湊田先生より講座総評
- 研修担当の山下 謙一郎氏より激励の言葉
- 集合写真撮影
- 閉式



Web環境開発高度IT人材育成研修

2. 中堅SE向け研修 概要

実施日 : 土曜日 10:00~17:00 (6H)

研修場所 : (株)フォーエバーセミナールーム

第1回	(11 / 7)	フレームワークの基礎
第2回	(11 / 21)	フレームワークの応用
第3回	(12 / 5)	フレームワークの実践
第4回	(12 / 19)	開発実習1
第5回	(1 / 9)	開発実習2
第6回	(1 / 23)	開発実習3

講師紹介

刈田 孝康先生

鹿児島大学大学院理工学研究科
情報生体システム工学専攻 准教授



専門分野 : 数理情報工学
授 業 : 情報数学
ソフトウェア工学
プログラミング演習
情報工学実験
アルゴリズムとデータ構造

受講者名簿

①(株)システムメディア	平野	栄里
②南国システムサービス(株)	福留	早紀
③南国システムサービス(株)	山角	耕一
④(株)WISHシステムコンサルティング	龍野	寛樹
⑤(株)南日本情報処理センター	川崎	奈菜
⑥(株)南日本情報処理センター	吉元	照貴
⑦小平(株)	竹中	和人
⑧小平(株)	山下	誠弘
⑨(株)フォーエバー	溜池	遼
⑩コムテック(株)	福島	卓弥
⑪東京コンピュータシステム(株)	児島	健一
⑫(株)ケイ・シー・エス	精松	裕太
⑬(株)ARS	尾辻	昴志朗
⑭(株)ARS	森田	美咲
⑮(株)ARS	原	裕之
⑯アイテック(株)	木場	惟織

開 講 式

◆日 時：平成27年11月7日（土）10:40～11:10

◆場 所：(株)フォーエバーセミナールーム

◆出席者

- ・講師 湊田先生
- ・受講者 15名
- ・鹿児島県産業立地課
- ・一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会
吉満会長、事務局

◆式次第

- ・開式
- ・一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会 吉満会長挨拶
- ・講師湊田先生紹介
- ・受講者自己紹介
- ・集合写真撮影
- ・閉式



第1回講座

◆日時：平成27年11月7日（土）11:10～17:00

◆出席者：講師 瀧田先生、受講者15名

◆概要：フレームワークの基礎

「AngularJS、jQuery、さくらエディタ等のツールをインストールして、開発環境を構築。JavaScript、jQuery、AngularJSの3種類の方法で同様のプログラムを作成し、それぞれの違いを説明。最後にAngularJSを用いてショッピングカートシステムと会員管理システムを作成。」

◆研修内容

●環境の構築

●基本の復習として、以下の三つの方法で「〇〇さんこんにちは！」を作成し違いを説明。

- ・JavaScriptで作った場合
- ・jQueryで作った場合
- ・AngularJSで作った場合

●AngularJSによる開発

- ・AngularJSを用いて、ショッピングカートシステムと会員管理システムを作成



注) AngularJS：オープンソースのJavaScriptフレームワークの一つとして注目されている。Webブラウザ上で動作するアプリケーションの開発にデザインパターンの一つであるMVCのアーキテクチャーを取り入れることを目的としている。

MVC：【Model View Controller】の略で、ユーザーインターフェースをもつアプリケーションソフトウェアを実装するためのデザインパターン。

第2回講座

◆日 時：平成27年11月21日（土）10:00～17:00

◆出席者：講師 湊田先生、受講者14名

◆概 要：フレームワークの応用

「AngularJSにおけるMVCパターンの具体的な実現例を挙げて説明。またSPAにおけるページ遷移の方法を説明し、サービスの実装と依存性注入の方法も説明。これらの知識を動員し3つのページからなる会員管理システムの作成を実施。」

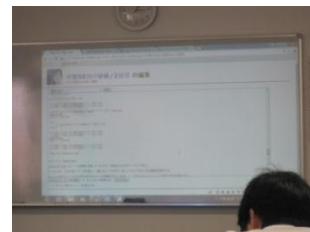
◆研修内容

●会員管理システムに使用する以下の技術や機能について説明

- ・MVCパターン
- ・DI (Dependency Injection:依存性注入)
- ・ルーティング
- ・サービス (MVCパターンを実現する際に、アプリケーションの現在の状態を保持するデータ (モデル) を担う機能)
- ・ディレクティブ
- ・フィルタ
- ・バリデーション

●Bootstrap3について説明

●AngularJSを少し本格的に使用して会員管理システムを作成



- 注) SPA : 【Single Page APPLication】の略で、1つにまとめて見せることで1つのページでさまざまな機能を利用できる。
- MVCパターン : 多くのデータベースアプリケーションが取り入れているデザインパターンの一つ。
- ディレクティブ : 本来プログラミングにおいてはコマンド (指令・命令) といった意味であるが、AngularJSではHTML命令を拡張する機能を言う。
- フィルタ : Angular式内でデータを加工する手法。
- バリデーション : フォームの入力欄のチェックを自動化する機能。
- Bootstrap3 : ページの見た目を統一感のある、ちょっと洗練されたものに簡単に変わってくれるフレームワーク。

第3回講座

◆日 時：平成27年12月5日（土）10:00～17:00

◆出席者：講師 瀧田先生、受講者14名

◆概 要：フレームワークの実践

「会員管理システム作成の続きを実施。表示を制御するためのフィルタ、入力データのチェックを行うバリデーション画面をスマートに見せるBootstrapを説明。またサーバーに接続して、データベースと連携する方法も説明。」

◆研修内容

- フィルタの機能を使い、データを加工する方法を習得
- バリデーションの機能を使い、入力欄に入力されたデータを検証する方法を習得
- Bootstrap3の機能を使い、ページを変更する方法を習得
- データベースサーバとの連携について説明
 - Webサーバー
 - FTPサーバー
 - データベースサーバー



第4回講座

◆日 時：平成27年12月19（土）10:00～17:00

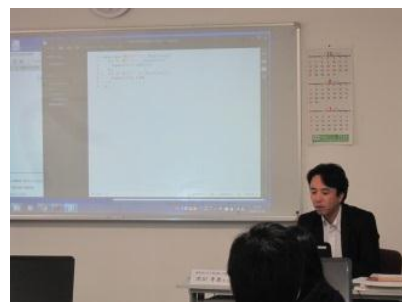
◆出席者：講師 湊田先生、受講者12名

◆概 要：開発実習1

「PHPでデータベースサーバに接続して、会員情報の新規登録、修正、削除が行えるようにした。またフィルタ機能を使って性別や血液型で表示を絞り込んだり順序を変更できるようにした。Jasmineとkarmaを使ったテストコードの実装も解説。」

◆研修内容

- データベースサーバとの連携（続）について説明
 - ・JSON形式でない接続について説明
- テスト環境の構築について説明とテストの実施
 - ・今回使用するテストフレームワークの説明とインストールを実施
 - ・テストフレームワーク（jasmineとkarma）を使用しテストを実施
 - ・テストでの表示結果を見栄え良くする処理を実装
 - ・三辺の数値を与えてどんな三角形になるかの判定テストを実施
 - ・複数のモジュールからなるコードのテストを実施



注) PHP : 動的にHTMLデータを生成することによって、動的なWebページを実現することを主な目的としたプログラミング言語である。
JSON : Webブラウザなどでよく使われている軽量なデータ記述言語の1つである。
jasmine : 開発者が記述したテストコードを実行し、テスト対象となるアプリケーションが期待される状態にあるかどうかを検査するための仕組み。
karma : 様々なブラウザでテストを実行し、その結果をまとめてレポートするためのツール。

第5回講座

◆日 時：平成28年1月9日（土）10:00～17:00

◆出席者：講師 瀧田先生、受講者12名

◆概 要：開発実習2

「開発実習1の続きを実施。複数の開発者で共同開発する場合のモックと呼ばれる代用品を使ったテストについて説明。その後、ディレクティブについて簡単な例を挙げて説明。」

◆研修内容

●開発実習1（続き）

- ・依存性の高いモジュールのテストを実施
- ・モックを使用したテストを実施
- ・KarmaによるブラウザUIテストを実施

●ディレクティブについて説明

- ・AngularJSでのディレクティブはHTML命令を拡張する機能で、最初から多くのディレクティブが準備されており、それを組合せて使うことでほとんどの処理は実現できる

●開発実習（AngularJSを使ったWebアプリ開発）

課題1：シンプル電卓

課題2：シンプルToDo



注) モック：モックとは「偽物」や「模造品」のことで、本物のふりをして本物らしく動作するけれど本物ではないものを意味する。

第6回講座

◆日 時：平成28年1月23日（土）10:00～16:00

◆出席者：講師 湊田先生、受講者15名

◆概 要：開発実習3

「開発実習2の続きを実施。各機能毎にソースコードのレビューを実施し受講者の理解を深めた。最後にHTML5でグラフィクスを扱う例を説明。」

◆研修内容：開発実習の続きを実施

●課題1 シンプル電卓

- ・ボタンを押すことによって四則演算を計算できるシンプルな電卓。
- ・小数演算もできる。
- ・Cボタンでクリアする。
- ・メモリ、ルートなど、適当な追加機能を入れること。

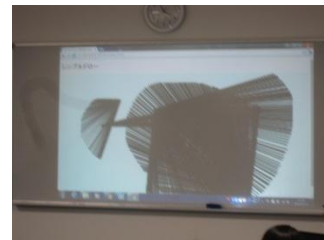


●課題2 シンプルToDo

- ・やるべきことをメモっておいて、終わったら消すことができる。
- ・メモの一覧表示ができる。
- ・重要度も指定できる。（A,B,Cなど）
- ・文字列でフィルタリングできる。

●課題3 シンプルドロー

- ・Canvasを使用してブラウザ内でお絵かきができるアプリ。
- ・直線、四角形、円、自由曲線などを描画する。
- ・色や線の太さなどの属性を変えることができる。



注) Canvas : Javaに内包されている二次元画像描画に便利なクラス。
 クラス : オブジェクト指向プログラミングにおける、データとその操作手順をまとめたオブジェクトの雛型を定義したもの

閉 講 式

◆日 時：平成28年1月23日（土）16:00～16:40

◆場 所：(株)フォーエバーセミナールーム

◆出席者

- 講師 湊田先生
- 受講者 15名
- 一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会
吉満会長、事務局

◆式次第

- 開式
- 一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会 吉満会長挨拶
- 修了証書授与15名
- 受講者を代表して(株)フォーエバーの溜池 遼氏より感想
- 講師の湊田先生より講座総評
- 研修担当の山下 謙一郎氏より激励の言葉
- 集合写真撮影
- 閉式



Web環境開発高度IT人材育成研修

3. ベテランSE向け研修 概要

(プロジェクトマネジメント研修)

実施日 : 土曜日 10:00~17:00 (6H)

研修場所 : (株)フォーエバーセミナールーム

- | | | |
|-----|-----------|----------------------------|
| 第1回 | (11 / 7) | プロジェクトマネジメントの全体概念
(知識編) |
| 第2回 | (11 / 21) | 演習と実例による解説編 |
| 第3回 | (12 / 5) | 成功プロジェクトのための実践編 |
| 第4回 | (12 / 12) | 成功プロジェクトのための実践編 |

講師紹介

瀬戸 康隆先生

(株)南日本情報処理センター
プロジェクトマネージャー



受講者名簿

- | | |
|----------------------|--------|
| ①ユニバーサル情報システム(株) | 桑波多 孝 |
| ②ユニバーサル情報システム(株) | 塩屋 恵太郎 |
| ③コムテック(株) | 武 洋一 |
| ④(株)ソフトウェア開発技術 | 畦地 聰 |
| ⑤南国システムサービス(株) | 打越 賢一 |
| ⑥南国システムサービス(株) | 上野 真世 |
| ⑦パステムソリューションズ(株) | 四ツ永 清志 |
| ⑧(株)ケイ・シー・エス | 磯島 敬 |
| ⑨(株)エス・テー・ラボ | 濱田 尚宏 |
| ⑩(株)エス・テー・ラボ | 鮫島 祐介 |
| ⑪(株)WISHシステムコンサルティング | 相星 吉昭 |
| ⑫東京コンピュータシステム(株) | 森本 伸二 |
| ⑬小平(株) | 外園 幸一 |
| ⑭(株)フォーエバー | 内田 大典 |
| ⑮アイテップ(株) | 浜崎 繭 |
| ⑯(株)ソフト流通センター | 野間 崇宏 |
| ⑰(株)ARS | 岩田 直幸 |
| ⑱(株)ARS | 柳木 健康 |

開 講 式

◆日 時：平成27年11月7日（土）10:00～10:30

◆場 所：(株)フォーエバーセミナールーム

◆出席者

- 講師 瀬戸先生
- 受講者 17名
- 鹿児島県産業立地課
- 一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会
吉満会長、事務局

◆式次第

- 開式
- 一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会 吉満会長挨拶
- 講師瀬戸先生紹介
- 受講者自己紹介
- 集合写真撮影
- 閉式



第1回講座

- ◆日 時：平成27年11月7日（土）10:40～17:00
- ◆出席者：講師 瀬戸先生、受講者17名
- ◆概 要：プロジェクトマネジメントの全体概念（知識編）

◆研修内容

- プロジェクトマネージャーについて説明
- プロジェクトとは何か：プロジェクトの3つの側面について説明
- ソフトウェア開発プロセスについて説明
- 代表的なソフトウェア開発プロセスについて説明
- ソフトウェア開発においてプロジェクトマネジメントの必要性について説明
- プロジェクトステークホルダーについて説明
- プロジェクトライフサイクルについて説明
- 最新PMBOKガイド第5版について説明



注) PMBOK：【Project Management Body Knowledge】の略で、国際的に標準とされているプロジェクトマネジメントの知識体系であり、建設、製造、ソフトウェア開発などを含む幅広いプロジェクトに適用できるプロジェクトマネジメントの基盤を提供する。

第2回講座

- ◆日 時：平成27年11月21日（土）10:00～17:00
- ◆出席者：講師 瀬戸先生、受講者17名
- ◆概 要：演習と実例による解説編
- ◆研修内容
 - プロジェクトの立上げとスコープ定義について説明
 - ・立上げ時にプロジェクト憲章作成とステークホルダーの特定を行う
 - ・計画時にはプロジェクトマネジメント計画書を作成する
 - ・ステークホルダーの要求を収集する
 - ・スコープを定義する
 - WBSと資源計画について説明
 - ・WBSについての説明と作成
 - ・アクティビティを定義する
 - ・クリティカルパス法の1つであるPERT図について補足説明
 - スケジュール作成について説明
 - ・アクティビティ順序の設定
 - ・アクティビティ所要期間の見積り
 - ・スケジュール作成
 - コスト見積りに関して説明
 - ・コスト見積りの手法と予算設定について説明
 - ・EVMについて説明
 - ・コストマネジメントについてグループ形式で演習を実施
 - リスク管理について説明
 - ・リスクマネジメントとして、リスクの特定・分析・対応計画
 - ・リスクマネジメントについてグループ形式で演習を実施

注) WBS：【Work Breakdown Structure】の略で、プロジェクトマネジメントで計画を立てる際に用いられる手法の一つで、プロジェクト全体を細かい作業に分割した構成図。

EVM：【Earned Value Management】の略で、各工程の進捗とコストの発生を一つのグラフで把握し的確に対処するための管理手法。

第3回講座

◆日 時：平成27年12月5日（土）10:00～17:00

◆出席者：講師 瀬戸先生、受講者14名

◆概 要：成功プロジェクトのための実践編

◆研修内容

- 人的資源マネジメントについて説明
 - ・プロジェクトにおける人的資源マネジメント
 - ・プロジェクトチームの作り方・育て方
 - ・プロジェクトチームのマネジメント
 - ・ソフトウェア開発プロジェクトにおけるチームの育成
 - ・人的資源マネジメントについて練習問題及び演習を実施

- プロジェクト実行の監視とコントロールについて説明
 - ・プロジェクト実績の測定とコントロール
 - ・プロジェクト実行の指揮をとる
 - ・プロジェクト作業を監視、変更管理及び各種コントロール
 - ・プロジェクト実績の測定とコントロールについて練習問題を実施

- コミュニケーション管理について説明
 - ・コミュニケーション管理の重要性
 - ・コミュニケーション計画を立てる
 - ・情報の配布と実績報告
 - ・コミュニケーション管理について、練習問題を実施

- 成果の品質管理について説明
 - ・品質管理の重要性 4つのポイント
 - ・プロジェクト品質マネジメント
 - ・品質に関する計画、保証、管理
 - ・スコープ検証
 - ・ソフトウェア開発における品質管理
 - ・品質マネジメントについてグループ演習を実施

- 調達とプロジェクトの終結について説明
 - ・調達計画
 - ・納入者の募集と選定（調達の実行）
 - ・調達の管理
 - ・調達終結
 - ・調達マネジメントについて練習問題及びグループ演習を実施

第4回講座

◆日 時：平成27年12月12日（土）10:00～16:00

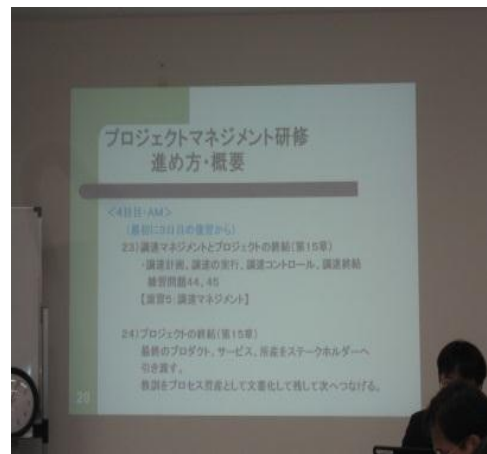
◆出席者：講師 瀬戸先生、受講者14名

◆概 要：成功プロジェクトのための実践編

◆研修内容

●演習の実施

- ・情報処理技術者試験の過去問題を用いて解答内容をグループ毎に発表
- ・テキスト掲載の失敗実例より要因分析と改善策をグループ形式でまとめ、発表



閉 講 式

◆日 時：平成27年12月12日（土）16:00～17:00

◆場 所：(株)フォーエバーセミナールーム

◆出席者

- ・講師 瀬戸先生
- ・受講者 14名
- ・一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会
吉満会長、事務局

◆式次第

- ・開式
- ・一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会 吉満会長挨拶
- ・修了証書授与14名（欠席者4名は事務局対応）
- ・受講者を代表して(株)フォーエバーの内田 大典氏より感想
- ・講師の瀬戸先生より講座総評
- ・研修担当の山下 謙一郎氏より激励の言葉
- ・集合写真撮影
- ・閉式



プレゼンスキルアップ人材育成研修

4. プレゼンテーション研修 概要

実施日 : 土曜日 10:00~17:00 (6H)

研修場所 : (株)フォーエバーセミナールーム

- | | | |
|------|-----------|--------------------------|
| 第1回 | (7 / 25) | 記憶に残るプレゼントとは |
| 第2回 | (8 / 8) | 成功するビジネスプレゼン |
| 第3回 | (8 / 22) | プレゼンの構想を練る |
| 第4回 | (9 / 12) | プレゼンの構想を練る2 |
| 第5回 | (9 / 26) | 発表原稿の作成とスライドの構想1 |
| 第6回 | (10 / 10) | コーチング見学、発表原稿の作成とスライドの構想2 |
| 第7回 | (10 / 24) | 伝わるプレゼンスライドの作成 |
| 第8回 | (11 / 1) | 優れたプレゼンテーション技術の体験 |
| 第9回 | (11 / 21) | プレゼンテーションの実施・リハーサル |
| 第10回 | (12 / 5) | プレゼン発表会 |

講師紹介

木場 雄一郎先生

テデックス鹿児島オーガナイザー



受講者名簿

①コムテック(株)	新堀 秀史
②コムテック(株)	當寺盛 直也
③(株)ケイ・シー・エス	一関 俊紀
④南国システムサービス(株)	阿部 将也
⑤パステムソリューションズ(株)	緒方 利洋
⑥パステムソリューションズ(株)	前田 明大
⑦(株)WISHシステムコンサルティング	大迫 康弘
⑧アイテップ(株)	山口 小百合
⑨(株)ARS	山元 康宏
⑩(株)ARS	笹沢 信隆
⑪(株)南日本情報処理センター	福元 敬太
⑫(株)南日本情報処理センター	加治木 幸輝
⑬(株)フォークリエイト	中林 陽輔
⑭(株)HKカンパニー	小水流 英昭
⑮(株)フォーエバー	牧野田 宏

開 講 式

◆日 時：平成27年7月25日（土）10:00～10:40

◆場 所：(株)フォーエバーセミナールーム

◆出席者

- ・講師 木場先生
- ・受講者 14名
- ・鹿児島県産業立地課
- ・一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会
野元理事、事務局

◆式次第

- ・開式
- ・一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会 野元理事挨拶
- ・講師木場先生紹介
- ・受講者自己紹介
- ・集合写真撮影
- ・閉式



第1回講座

- ◆日 時：平成27年7月25日（土）10:50～17:00
- ◆出席者：講師 木場先生、受講者14名
- ◆概 要：記憶に残るプレゼンとは

◆研修内容

- 記憶に残るプレゼンテーションについて説明
 - ・どんなプレゼンテーションがあるか？
 - ・プレゼンをするのに知るべき要件について
 - ・本講座におけるプレゼンの定義
 - ・プレゼンにおける目的達成について
 - ・記憶に残るためにはどうしたらいい？
 - ・プレゼン思想とプロセス
- 実習（自己紹介をプレゼンテーマとし準備～発表）
 - ・自分についてのキーワードを書き出す
 - ・書き出したキーワードをグループ化する（3グループくらいに）
 - ・キーとなるメッセージ（ひとつ）を決める
 - ・各グループのキーワードをメッセージ（使うもの）とノイズ（捨てるもの）に分ける
 - ・キーワードを発表の順に並べる（発表時間（1分間）以内にまとめる）
 - ・練習する



第2回講座

- ◆日 時：平成27年8月8日（土）10:00～17:00
- ◆出席者：講師 木場先生、受講者12名
- ◆概 要：成功するビジネスプレゼン

◆研修内容

- 成功するビジネスプレゼンについて説明
 - ・ビジネスプレゼンにおける「成功」って？
 - ・成功するには？
 - ・自分のアイデアをうまく相手に伝えるには？
 - ・意思決定プロセスを考える
 - ・プレゼンの制約条件

- 実習（研修最終日のプレゼン発表課題を決める）
 - ・プレゼンの前提条件（10分/人）
 - ・提案する製品・サービスを定める
 - ・提案相手の環境、競合状況を設定する
 - ・発表及び講評



第3回講座

◆日時：平成27年8月22日（土）10:00～17:00

◆出席者：講師 木場先生、受講者9名

◆概要：プレゼンの構想を練る

◆研修内容

●プレゼンの組み立て～実施までについて説明

手順1：提出資料を作る（今回）

手順2：提出資料を基にプレゼンのストーリーを組み立てる

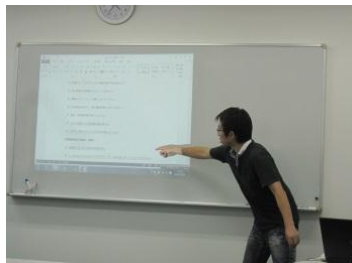
手順3：プレゼンスライドの準備

手順4：プレゼンの実施

●提案資料に必要な要素について説明

- ・解決すべき課題
- ・課題の分析
- ・解決案の提示
- ・解決案の詳細、評価指標
- ・プロジェクト体制
- ・スケジュール
- ・コスト
- ・過去の取引実績、他社導入実績
- ・競合製品との比較、長所
- ・提案先からの要求に含むもの

●実習：プレゼン時に提出する資料の作成と発表



第4回講座

◆日時：平成27年9月12日（土）10:00～17:00

◆出席者：講師 木場先生、受講者12名

◆概要：プレゼンの構想を練る2

◆研修内容

●プレゼン構想を練る流れについて説明

- ・アイデアを書き出す
- ・グループ化する
- ・メッセージとノイズに分ける
- ・ストーリーを組み立てる
- ・問いかけてみる

●SUCCESSの法則について説明

- ・Simplicity（単純明快）
- ・Unexpectedness（意外性）
- ・Concreteness（具体性）
- ・Credibility（信頼性）
- ・Emotions（感情に訴えること）
- ・Stories（物語性）

●実習

- ・キーワードを書き出す
- ・キーワードをメッセージとノイズに分ける
- ・メッセージを使いストーリー組み立てる
- ・ストーリーの順番にキーワードを書き出す
- ・5分/人で発表



発表スライドの構成



第5回講座

- ◆日 時：平成27年9月26日（土）10:00～17:00
- ◆出席者：講師 木場先生、受講者14名
- ◆概 要：発表原稿の作成とスライドの構想1
- ◆研修内容
 - 実際にプレゼンで話すための原稿を作る
 - ・ パワーポイントスライドのメモ欄を利用する
 - スライドに入れる要素を考える
 - ・ 原稿に合わせ、プレゼンスライドに入れる要素を決める（言葉、数字、図など）
 - ・ スライドデザインで大切な3つのポイントについて説明
 - ポイント1：シンプルであること
 - ポイント2：読ませない（箇条書きはやめ、フォントサイズは大きく）
 - ポイント3：ビジュアル志向でインパクトと説得力の高いスライドを作成
 - ・ 自分の意図を明確に伝えるスライドについて説明
 - 実習
 - ・ プレゼン原稿とスライド案（前半5分）を作成
 - ・ 5分／人で発表
 - ・ 本番のつもりで発表すること



第6回講座

- ◆日時：平成27年10月10日（土）10:00～17:00
- ◆出席者：講師 木場先生、受講者15名
- ◆概要：コーチング見学、発表原稿の作成とスライドの構想2

◆研修内容

- コーチングについて説明
 - ・プレゼンを他人の視点でチェック、助言する
 - ・プレゼンで伝えたいことを引き出してあげる
（プレゼンで伝えたいことを引き出す、粗探しが目的ではない）
- 実習
 - ・プレゼン原稿とスライド案（後半5分）の作成
 - ・5分/人で発表
 - ・本番のつもりで発表すること



第7回講座

◆日 時：平成27年10月24日（土）10:00～17:00

◆出席者：講師 木場先生、受講者12名

◆概 要：伝わるプレゼンスライドの作成

◆研修内容

●スライドデザインで大切なことについて説明

- ・シンプルであること
- ・言葉や画像について統一すること
テキスト（文体の統一、文字の大きさ、書体、フォント）、色、画像
- ・テキスト量は少なくすること
- ・意味を強調する写真を使うと効果的
写真と言葉のセットでより正確に伝わる

●実習

- ・プレゼンスライドの作成



第8回講座

◆日時：平成27年11月1日（日）13:00～17:50

◆出席者：木場先生、受講者15名

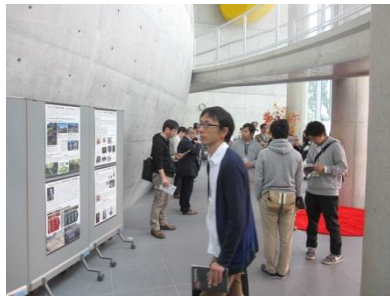
◆概要：優れたプレゼンテーション技術の体験

「TEDxKagoshima2015に参加」（鹿児島大学稲森会館にて）

◆研修内容

●県内外のスピーカー9組が「Switch」というテーマのもと発表

●話し方やスライドの構成等発表のポイントについてレクチャーを受ける



第9回講座

◆日 時：平成27年11月21日（土）10:00～17:00

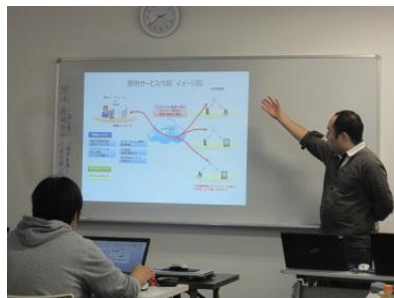
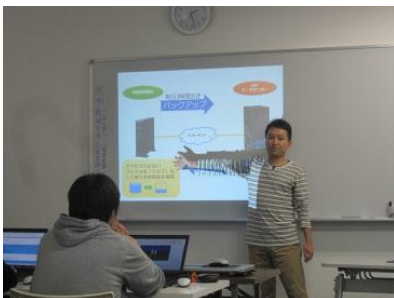
◆出席者：講師 木場先生、受講者14名

◆概 要：プレゼンテーションの実施・リハーサル

◆研修内容

- プレゼンテーションで大切なことについて説明
 - ・プレゼン＝パフォーマンス →役割を演じきること！
 - ・リラックスしてプレゼンを実施する → そのためにどんな準備が必要か？
 - ・プレゼン前日までにやっておくこと
 - ・プレゼン当日にやること
 - ・プレゼンに適した服装
 - ・プレゼンで使用するツール
 - ・敵対者への対応：オープニングの「つかみ」、チャンスは最初の1-2分
 - ・動きは意図を持って
 - ・スクリーンを見ない、見せない
 - ・アイコンタクト：アイコンタクトで心を通わせる
 - ・声のトーンとボリューム
 - ・原稿を読み上げない：自然な言葉として出てくるまで練習すること。
 - ・情熱をもって
 - ・自社製品やサービスに対する情熱を見せる
 - ・常にポジティブなマインドで

- 実習
 - ・プレゼンリハーサル 10分/人
 - ・スライド修正



第10回講座

- ◆日 時：平成27年12月5日（土）10:00～16:00
- ◆出席者：講師 木場先生、受講者15名及び各社の責任者
- ◆概 要：プレゼン発表会
- ◆研修内容
 - プレゼン最終準備：発表での注意点、最終チェック
 - プレゼン発表会
 - ・受講者15名 各自10分発表
 - ・発表順（敬称略）

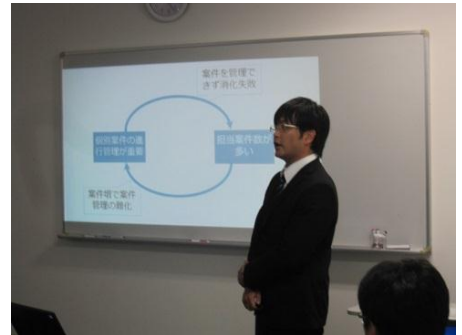
①一関 俊紀



②緒方 利洋



③前田 明大



④大迫 康弘



⑤山口 小百合



⑥山元 康宏



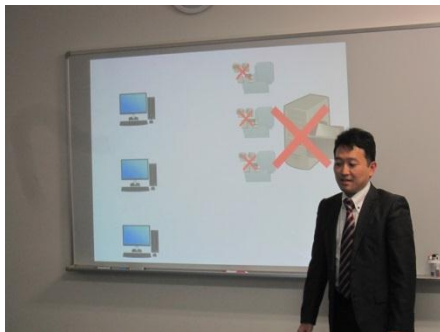
第10回講座

●プレゼン発表会

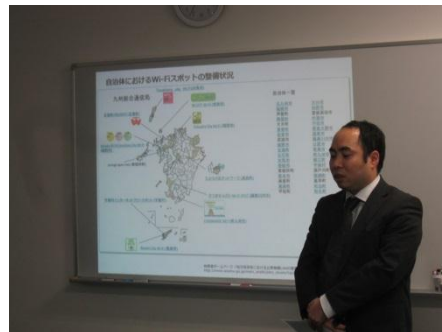
⑦笹沢 信隆



⑧福元 敬太



⑨加治木 幸輝



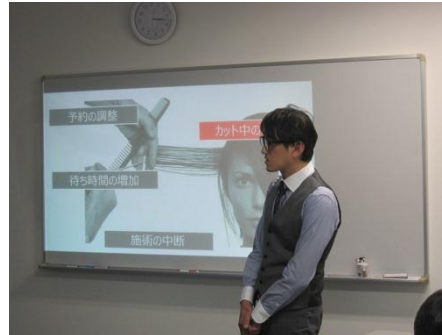
⑩中林 陽輔



⑪小水流 英昭



⑫新堀 秀史



⑬當寺盛 直也



⑭阿部 将也



⑮牧野田 宏



閉講式

◆日時：平成27年12月5日（土）16:00～17:00

◆場所：(株)フォーエバーセミナールーム

◆出席者

- ・講師 木場先生
- ・受講者15名
- ・鹿児島県産業立地課
- ・一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会
吉満会長、事務局

◆式次第

- ・開式
- ・一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会 吉満会長挨拶
- ・修了証書授与15名
- ・受講者を代表して(株)ARSの笹沢 信隆氏より感想
- ・講師の木場先生より講座総評
- ・研修担当の山下 謙一郎氏より激励の言葉
- ・集合写真撮影
- ・閉式



5. 処遇改善計画に関する助言等について

● 支援対象事業者一覧

(50音順)

	会社名	〒	住所
1	(株)ARS	892-0838	鹿児島市新屋敷町15-19
2	(有)Frida	892-0824	鹿児島市錦江町1-17
3	(株)HKカンパニー	892-0815	鹿児島市易居町1-2
4	(株)WISHシステムコンサルティング	892-0842	鹿児島市東千石町14-10
5	アイテップ(株)	892-0823	鹿児島市大黒町2-11
6	(株)エス・テー・ラボ	892-0854	鹿児島市長田町1-16
7	(株)エム・ディ・エス	890-0064	鹿児島市鴨池新町5-22
8	(株)ケイ・シー・エス	890-0063	鹿児島市鴨池1丁目45-20
9	小平(株)	890-0056	鹿児島市下荒田町4-48-9
10	コムテック(株)	890-0046	鹿児島市西田1-5-1
11	(株)コレクトプラン	892-0821	鹿児島市名山町9-15
12	(株)システムメディア	891-0131	鹿児島市谷山港1-3-48
13	(株)ソフトウェア開発技術	890-0008	鹿児島市伊敷4丁目12-13
14	(株)ソフト流通センター	890-0053	鹿児島市中央町22-16
15	東京コンピュータシステム(株)	890-0052	鹿児島市上之園町4-6
16	南国システムサービス(株)	890-0064	鹿児島市鴨池新町6-6
17	パステムソリューションズ(株)	892-0836	鹿児島市錦江町9-25
18	(株)フォーエバー	890-0053	鹿児島市中央町23-21
19	(株)フォークリエイト	892-0821	鹿児島市名山町9-15
20	(株)南日本情報処理センター	891-0115	鹿児島市東開町4-104
21	ユニバーサル情報システム(株)	892-0846	鹿児島市加治屋町18-8

処遇改善計画に関する助言等について

●処遇改善計画（例）

（参考）

処遇改善計画（例）

事業名	IT産業受注促進等支援事業	
支援事業者(委託先)	一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会	
支援対象事業者	□□□□株式会社	
事業目標	事業内容を実施することにより、支援対象事業者の売上を前年度比5%増加させ、従業員の所得を増加させる。	
事業期間	平成26年〇月～平成27年〇月	
事業の内容	内容	実施期間
	〇〇〇研修の受講	〇〇年〇月～ 〇〇年〇月
宣言事項	■事業内容を実施することにより、収益を前年度比約〇%増加させ、	
	従業員賃金を〇%アップさせる。従業員へ一時金を〇～〇万円支給する。	
	非正規従業員を〇名正規従業員とする。福利厚生充実を図る(社員旅行費用の補助) など	
	□□□□株式会社 代表取締役〇〇〇〇 印	

※宣言事項については、支援対象事業者が記入すること。

※目標達成については、アンケートや訪問調査にて確認する。

●企業訪問内容について：

- ・ 企業概況、経営状況、経営課題、人材育成について
- ・ 処遇改善について経営者としての取組みについて
- ・ 研修受講による処遇改善計画作成
- ・ 処遇改善実績（見込み）確認

- ・ 企業訪問回数：62回（2～3回程度／企業）

6. その他関係資料

●募集チラシ

従業員のスキルアップと処遇改善から県内の情報関連企業の成長を支援します

IT産業受注促進等支援事業

受講料 無料 **定員 65名**

県内外企業からの大規模なシステム開発の受注促進を図るため、県内の情報通信関連企業(支援対象事業者)の技術者を対象に、Webアプリケーション開発の基本設計等を行える技術者の養成講座や、顧客から求められたニーズを的確に把握・解決策を提案できるプレゼン技術のレベル向上を図る研修を行うことにより、競争力の向上による売上げや利益の増加を通じて、在籍者の処遇改善を図ります。

Web環境開発高度IT人材育成研修の実施

研修の主な目的
高度IT技術者の育成

研修について
人数: 各コース15名程度の予定
回数: 各コース4回~6回程度

募集スキル	定員	コース名
新手SE	15名	実務を想定したWebアプリケーション開発研修
中堅SE	15名	実践的なWeb開発研修 (JavaScript/JQuery)
ベテランSE	15名	プロジェクトマネジメント研修

プレゼンスキルアップ人材育成研修の実施

研修の主な目的
プレゼンスキルの向上

研修について
人数: 20名程度の予定
回数: 10回程度

内容
プレゼンテーション研修 (原学・実践)・東洋セミナー

支援対象事業者の皆さまへ

情報通信関連業務の主な要件	実施により期待できる効果	処遇改善の例
<ol style="list-style-type: none"> 1 処遇改善計画の作成 2 研修の受講 3 従業員の処遇改善 	<ul style="list-style-type: none"> ● システム開発の一括受注 ● 販路拡大 ● 生産性向上 ● 新分野進出 ● 利益の増加 ● 競争力の向上による売上げ増 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 賃上げ ● 一時金の支給 ● 正社員への転換 ● 福利厚生充実 ● 手当の新設 など

※処遇改善の具体例など、詳しくはKISAホームページをご覧ください。

応募から参加決定までの流れ

- 1 応募・お申込み
- 2 個別打合せ
- 3 処遇改善計画書の作成
- 4 処遇改善計画書に基づくヒヤリング
- 5 処遇改善計画書の承認・参加決定

Web環境開発高度IT人材育成研修の内容

新手SE向け研修

実務の開発イメージがわかるような研修内容

対象: JavaやCなどの基礎知識を有し、開発経験年数が2~3年程度のSE
内容: 実務を想定したWebアプリケーション開発研修 (JavaScriptとWebアプリ) (学習システム開発実務)
日程: 平成27年8月~10月の月2回程度の土曜日 6回実施予定

中堅SE向け研修

実践的なWeb開発研修

対象: Web系開発経験年数が3~6年程度のSE
内容: JavaScript / JQueryを中心とした高度系開発研修 (応用編)
日程: 平成27年11月~平成28年1月の月2回程度の土曜日 6回実施予定

ベテランSE向け研修

プロジェクトマネジメント研修

対象: 開発経験年数が6年以上のSE
内容: プロジェクトマネジメント研修
日程: 平成27年11月~12月の月2回程度の土曜日 4回実施予定

プレゼンスキルアップ人材育成研修の内容

プレゼンテーション研修

対象: 技術者、営業担当者等
内容: 受注のための実践的なプレゼンテーション研修の実施 (テーマの策定~分析~プレゼン資料の作成~発表)
個人プレゼンのテーマは、プロジェクト受注のための提案など自身の仕事に関連したものを推奨
日程: 平成27年7月~12月の月2回程度の土曜日 10回実施予定

研修会場
株式会社フォーエー中央駅教室
鹿兒島市中央町22-16アールプラザ4F
TEL: 10:00~17:00
099-219-9088
099-219-9088

お問い合わせ・申込先
KISA 検索

一般社団法人鹿兒島県情報サービス産業協会 (KISA)
〒892-0821 鹿兒島市名山町9-15号 ソフトプラザかこしま402号
TEL: 099-219-9088 (受付 平日10:00~17:00)
FAX: 099-219-9099
H.P: http://www.kisa.or.jp
MAIL: info@kisa.or.jp

※IT産業受注促進等支援事業は、鹿児島県知事官民共同特別基金(地域づくり事業)を活用し鹿兒島県から一般社団法人鹿兒島県情報サービス産業協会が委託して実施する事業です。

●新聞広告

H27.6.4
H27.6.9

Web環境開発高度IT人材育成研修

受講者募集!! **参加無料**

県内外企業からの大規模なシステム開発の受注促進を図るため、県内の情報通信関連企業(支援対象事業者)の技術者を対象に、Webアプリケーション開発の基本設計等を行える技術者の養成講座を下記のとおり開催します。

従業員のスキルアップと処遇改善から
県内の情報通信関連企業を支援します。

IT産業受注促進等支援事業

Web環境開発高度IT人材育成研修

受講料 **無料** 定員 **45名** 受講回数 **4~6回**

対象 県内の情報通信関連企業の技術者
①初級コース: JavaやCなどの基礎知識を有し、開発経験年数が2~3年程度のSE(新手SE向けの研修です)
②中級コース: Web系開発経験年数が3~6年程度のSE(中堅SE向けの研修です)
③上級コース: 開発経験年数が6年以上のSE(ベテランSE向けの研修です)

内容・日程
①初級コース(新手SE向け研修): 実務を想定したWebアプリケーション開発研修
平成27年8月~10月の月2回程度の土曜日 6回実施予定
②中級コース(中堅SE向け研修): JavaScript/JQueryを中心とした高度系開発研修(応用編)
平成27年11月~平成28年1月の月2回程度の土曜日 6回実施予定
③上級コース(ベテランSE向け研修): プロジェクトマネジメント研修
平成27年11月~12月の月2回程度の土曜日 4回実施予定

定員 45名(各コース15名程度)

研修会場 株式会社フォーエー中央駅教室
鹿兒島市中央町22-16アールプラザ4階

お問い合わせ・お申し込み先
一般社団法人鹿兒島県情報サービス産業協会[KISA]
(鹿兒島県IT産業受注促進等支援事業/雇用基金事業/地域づくり事業)委託先

詳しくはKISAのホームページをご覧ください。 KISA 検索

〒892-0821 鹿兒島市名山町9-15号 ソフトプラザかこしま 402号
電話: 099-219-9088 (平日 10:00~17:00) / ファクシミリ: 099-219-9099
メールアドレス: info@kisa.or.jp

プレゼンスキルアップ人材育成研修

受講者募集!! **参加無料**

県内外企業からの大規模なシステム開発の受注促進を図るため、県内の情報通信関連企業(支援対象事業者)の技術者、営業担当者等を対象に、顧客から求められたニーズを的確に把握・解決策を提案できるプレゼン技術のレベル向上を図る研修を下記のとおりに開催します。

従業員のスキルアップと処遇改善から
県内の情報通信関連企業を支援します。

IT産業受注促進等支援事業

プレゼンスキルアップ人材育成研修

受講料 **無料** 定員 **20名** 受講回数 **10回**

対象 県内の情報通信関連企業の技術者、営業担当者など

内容 受注のための実践的なプレゼンテーション研修の実施 (テーマの策定~分析~プレゼン資料の作成~発表)
受講者プレゼンのテーマは、プロジェクト受注のための提案など自身の仕事に関連したものを推奨

日程 平成27年7月~12月の月2回程度の土曜日 10回実施予定

研修会場 株式会社フォーエー中央駅教室
鹿兒島市中央町22-16アールプラザ4階

お問い合わせ・お申し込み先
一般社団法人鹿兒島県情報サービス産業協会[KISA]
(鹿兒島県IT産業受注促進等支援事業/雇用基金事業/地域づくり事業)委託先

詳しくはKISAのホームページをご覧ください。 KISA 検索

〒892-0821 鹿兒島市名山町9-15号 ソフトプラザかこしま 402号
電話: 099-219-9088 (平日 10:00~17:00) / ファクシミリ: 099-219-9099
メールアドレス: info@kisa.or.jp

H27.6.3
H27.6.8

終わりに

当事業の実施にあたり、ご支援・ご協力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

委託者：鹿児島県商工労働水産部産業立地課

受託者：一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会

鹿児島県 I T 産業受注促進等支援事業実施報告書



一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会